

新春決起集会で決意 「命と暮らしを守る議席復活を！」 告示まであと2ヶ月

1月9日の党と後援会の「新春学習決起集会」には、会場いっぱい150の方が参加してくださり、田村智子参院議員も国会報告と激励に。私は、「必ず議席の復活を！」と訴えました。

「年金だけでは生活不可。税の取立てで生命保険を勝手に解約するなんて…」手紙を紹介

「お正月に事務所に届いた封書には、党が2年前に配布したアンケートの回答が入っていました。『税金が高すぎ、年金だけでは生活不可。苦しいものから税金を取るなんて…』これが少ない暮らしの実態だ、と胸に刺さりました。命と暮らしを守り抜く、その仕事に全力を尽くします。憲法と命輝く県政へ、松戸から日本共産党の議席復活を！頑張ります！」（抜粋）



田村智子参院議員も激励

政党を墮落させる「政党助成金」は廃止を！ 駅頭宣伝

「その通り！」と期待の声

通常国会冒頭(1月26日)に日本共産党は「政党助成金廃止法案」を提出しました。それに先立ち18日には、松戸駅東口で「政党助成金廃止を」と宣伝署名行動を行い、25人が参加、30筆の署名が寄せられました。ある男性は「やっと出てきたか。前からオレは(廃止しろ)言ってたんだ」と署名してくれました。

「身を切る改革」として、議員定数削減と引きかえに消費税増税が押し付けられようとしています。しかし、議員が身を切るというなら、民意を切り捨てる議員定数の削減ではなく年間320億円(国会議員450人分の経費に相当)もの政党助成金こそ廃止すべきではないでしょうか。



交差点の改善要望 住民、市担当者と現地調査

幸田「危険な六叉路、ノンブレーキの車も」 古ヶ崎「振動で夜眠れず…」

各地で、地域の皆さんから要望が寄せられている生活道路の安全・安心対策。私も市議や地元住民の皆さんと一緒に、市の担当者も交えて現地調査に取り組んでいます。

1月22日には、幸田の鉄塔通りの危険な六叉路の現地調査が行われ、地元住民、市担当課、高木健市議ら合わせて23人が参加しました。

広い道路同士の交差点に生活道路も交差し、信号もないため「ブレーキの音がすると、ヒヤヒヤする」と周辺の住民から声が寄せられていました。

調査では、「カーブミラーを大きくしてほしい」「一時停止をきちんと守らせて」などの要望が出され、市は「警察に皆さんの要望を伝えますが、緊急に道路標示と看板の設置を検討します。」と約束してくれました。

信号機の設置も含め、安全対策を住民合意ですすめるため、私は、昨年末に続き2月にも県警に要望をしていきます。



雨のなか、地域の皆さんと現地調査する、みわ(右端)、高木市議(左隣)



古ヶ崎のこしじや酒
店前でも、1月21日
に地元の方や、高橋た
え子市議(写真中央)、
市担当課と共に現地調
査を行いました。

4月12日の県議選でみわ由美候補への支持を広げて紹介してください。

お名前	ご住所	お電話	ご関係

紹介していただいた方のお名前() お電話()

みわ事務所にお電話(047-311-5231)いただければ伺います。ファックス(047-311-5233)でも結構です。